

ちいさな 建設

浅草リトルシアター



六区の原点

東京下町・浅草。浅草寺の西側に位置する六区と呼ばれる界隈は明治から昭和にかけて日本のエンターテインメントの中心地で、全盛期には大小様々四〇ほどの劇場や芝居小屋が軒を連ねた大繁華街だった。戦後、停滞したものの、二〇一二年のスカイツリーの開業や、近年はインバウンドも手伝いまた人気を集めている。

六区通りの真ん中辺りに、嘘か本当か、キャッチコピーに「世界で一番小さな劇場」と謳う浅草リトルシアターがオープンしたのは二〇〇八年三月。小屋主の山口六平さんは「本当は少人数の演劇を行う常打小屋のつもりでしたけどダメで、丁度テレビでブームになっていた若手のお笑いを始めたら好評だったのでタイトルを『爆笑！お笑い六区』に。結局リトルシアターのメインになっちゃいました(笑)」と語る。現在は事務所の枠を越えた約二〇組の芸人が一日六回公演を行う。参加登録芸人は一〇〇組以上だという。

客席はようやく五〇席、ステージは幅四呎×奥行二呎。観客と芸人との間合いはぐっと近く、笑いがぱっとスパークする。浅草六区の新たな笑いを生む原点のような空間だ。

アクセス

都営浅草線、東京メトロ銀座線の浅草駅から徒歩で6分ほど
つくばエクスプレス浅草駅から歩いて1分ほど